

子どもの体力向上に向けた方策等について【島本町教育委員会】

中学校

(成果と課題)

男女ともに体力合計点が、大阪府・全国より上回る結果であった。意識調査においては「運動が好き」「体育の授業が好き」と回答した割合が、大阪府・全国とほぼ同じ値となっている。また、部活動(運動部)の所属率も高く、部活動が生徒の体力向上の一翼を支えていると言える。このことから、多くの生徒に運動習慣が定着化されていると考えることができる。課題として、男女とも「ハンドボール投げ」の数値が全国より低く、巧緻性・投球能力の強化が必要である。

また男子生徒質問紙集計より、「保健体育の授業では、授業の最後に今日学んだ内容をふり返る活動を行っていますか」の項目の肯定的意見が他の項目と比べて低い値となっている。(島本町60.2%、大阪府68.9%、全国75.3%)



運動の大切さを知り、主体的に運動に取り組もう！

～生涯にわたって運動をしようとする意欲につながる土台をつくるために～

- 「できる喜びを感じられる授業づくり」を展開する。
→体育の授業において、個々の生徒が「できる喜び」を感じられるように、導入時の補強運動の充実やスモールステップの授業づくりを行う。
- 生徒自身が「運動の大切さ」を理解する。
→生徒自身が、教育活動全体を通じて、健全な心身の成長には、運動も大切であることを理解する。
- 体の動かし方や運動の仕方を理解させながら運動ができるようになる指導
→「授業の目標(目当て・ねらい)の提示」「授業のふり返り」の重要性を再認識し授業づくりを行う。
→ビデオ・デジカメ・タブレットなどを用いて自分や友達の動きを撮影し活用するなどの対話的な活動を取り入れる。

★上記取組以外からも、保健体育の授業改善、運動の重要性を踏まえた生活習慣改善等の取組を家庭と連携をはかって行っていく。